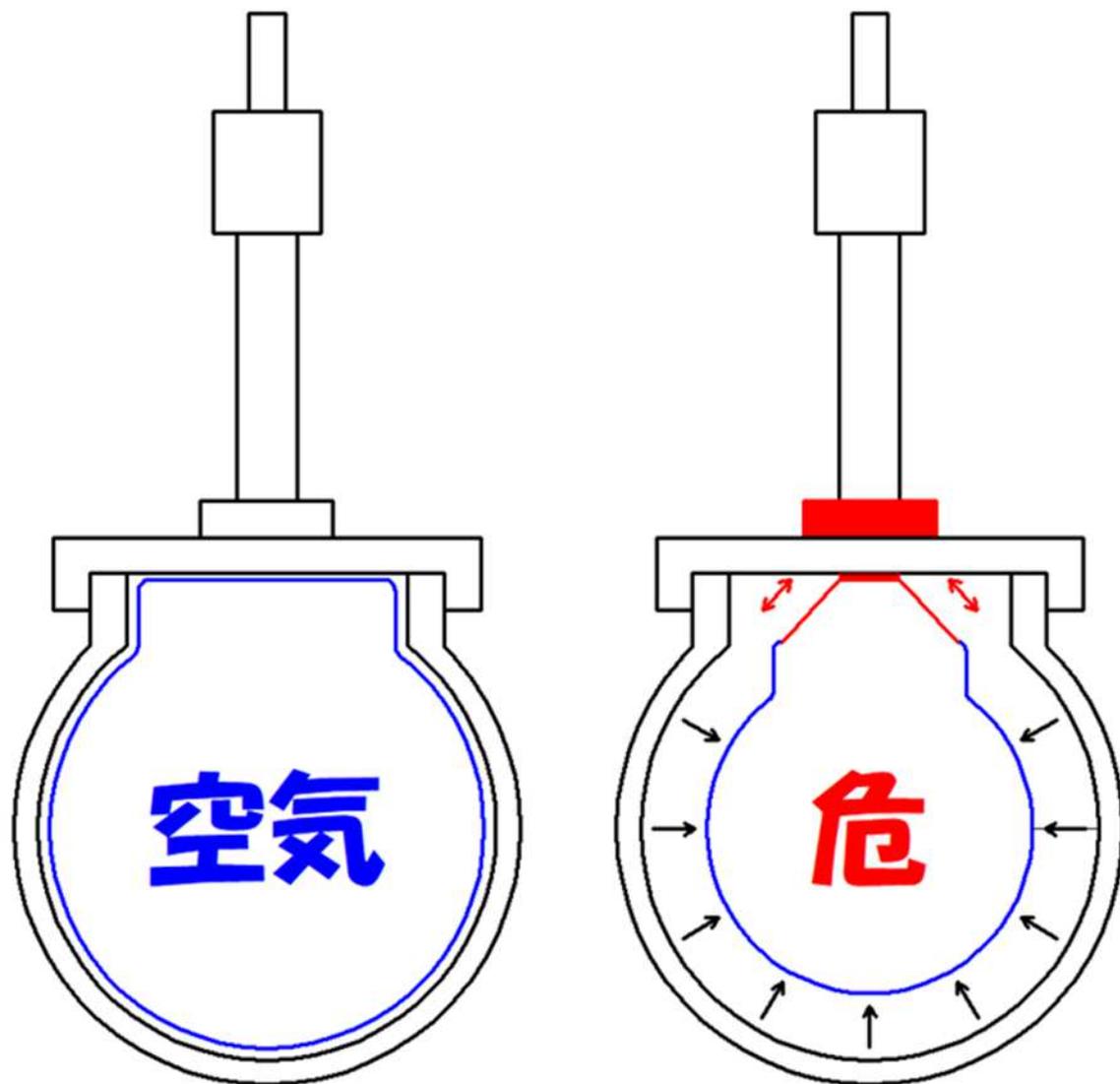


タイヤチューブ分解・プランジャ確認時 注意点

《リスク》



チューブから空気が抜けると、チューブの体積が小さくなります。

バルブ根元のナットが固定されたままだと、チューブとバルブの接合部分に、引っ張るチカラが働きます。

金属とゴムという異物の接合部分に負荷がかかり、劣化したチューブだと、スローパンクを引き起こす可能性があります。

適切な解決に必要な知識は
車いす安全整備士養成講座から